

平成 28 年 5 月 11 日

宮崎海上保安部

## 宮崎みなとまつりに参加 ～測量船「明洋」一般公開に長蛇の列～

宮崎海上保安部では5月4日のゴールデンウィーク期間中に宮崎市が宮崎港で開催した「宮崎みなとまつり 2016」に参加し、海の安全推進活動、防災啓発、制服着用等のほか、測量船「明洋」の一般公開を実施した。

測量船「明洋」による一般公開は、万一の際の南海トラフ地震等による影響が危惧されている宮崎市から、防災啓発等のために参加してほしいとのたつての希望があったものであり、長期にわたる調整の結果、本庁、本部海洋情報部の協力の下、実施するに至ったものです。

まつり当日は、前夜までの大雨がうそのような快晴が広がり、港内もうねり等がなく、絶好の祭り日和であり、メインステージ正面に停泊した「明洋」の船体が一段と白く輝く中、歓迎セレモニーから始まり、ステージには各関係者、来賓が檀上する中、第二種制服で参加していただいた測量船「明洋」船長、業務管理官の白い制服も、また、輝き放っていた。

今回は、一般公開ではありましたが、宮崎サンシャインレディーに「一日船長」を依頼したところ、その効果か、それとも、宮崎市民の「明洋」に対する関心の表れか、受付時間前から一般公開を待つ長蛇の列ができ、最終的に1,828名が乗船した。予想外の来場者に終始対応におわれ、岸壁上で行っていた防災啓発や、安全推進活動、制服試着等の展示ブースも市民の関心がうかがえるほどの大盛況となった。

なお、まつり前日には、宮崎港に初入港した「明洋」に対し、主催者である戸敷正宮崎市長の表敬を受け、海上保安庁に対する期待と測量船「明洋」のみなとまつり参加に対するお礼の言葉があった。

最後に、今回ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。来年度も、どうぞよろしく願います。 <( )>



宮崎市長、一日船長との記念撮影



ステージ上での開催セレモニー



ブースでの啓発活用



「明洋」の乗船を待つ長蛇の列



宮崎市長による「明洋」表敬